

「ヨロンのタカラ探し」

茶花小学校 6年生

授業：海洋教育



令和2年度与論町海洋教育

02号

昨年度から与論町教育委員会では日本財団・東京大学海洋教育センター・笹川平和財団海洋政策研究所からの支援を受け海洋教育パイオニアスクールを導入しました。町内の小・中・高等学校が連携して行う「地域連携型」というスタイルで海を通じた学びの活動を行っています。与論町教育委員会を含め全国10の地域が「地域連携型」で海洋教育パイオニアスクールプログラムに参加しています。

7月3日、茶花小学校6年生の海洋教育の授業「ヨロンのタカラ探し」に参加させていただきました。前回の授業後、6グループがそれぞれ1学期の予定をたて、それに沿った調べ学習を進めていました。今回の授業では「情報の整理」や7月8日の授業に向けた事前準備などに取り組んでいました。



グループワーク中



発表の様子

これまでの授業で調べたり、地域の方から聞いたりした情報を整理する中で、足りない情報や、思いどおりに進まなかったことなどが見えてきたようで、「悩んで先生にアドバイスをもらうチームや、これまでとは違ったアイデアや探究方法を思い付くチームなどそれぞれのチームが違った形で前に進んでいるようでした。

そして授業の最後には、各チームの進捗状況と次回取り組みたいことを発表していました。

7月8日の授業では、地域の方に現状のアイデアについて講評をしてもらうチームもあるそうです。講評でどんな意見をいただけるのか、緊張しますが楽しみです。



各グループそれぞれの方法で調べ学習

取材：

与論町海洋教育推進協議会事務局

取材日：2020.07.03